



すべての働く仲間の「必ずそばにいる存在」へ

Heart to Heart

第17期後半年度の連合運動を 推進しよう！

光陰矢の如し：月日の流れは早いもので、事務局長となつてまもなく1年となります。引き続き、よろしくお願ひいたします。

10月から始まる第17期の後半年度(23年度)は、コロナ禍による社会・経済活動の制約が長引く中、ロシアのウクライナ侵攻など高まる世界情勢不安や物価高など、これまでとは異なる局面での運動の展開が求められます。とりわけ、中小企業で働く人、パート・有期・派遣契約で働く人、フリーランス、「曖昧な雇用」で働く人、そして女性、外国人など、多くの働く仲間が打撃を受けており、賃上げ・格差是正、雇用と生活のセーフティネットの構築、ジェンダー平等・多様性の推進など、政策・制度実現の取り組みを強化していくことが必要です。また、持続的な「人への投資」と次世代技術の開発、技術・技能伝承のための人財の確保も重要であり、DXやGXへの対応が急がれる中、グリーンでディーセントな付加価値の高い雇用を生み出していく「公正な移行」を実現していくことも必要です。

て、コミュニケーションの活性化と連携強化をはかっていきます。

「力と政策」を強化し、 連合ビジョン「働くことを軸とする 安心社会」の実現を！

連合は、2013年第13回定期大会で「連合の政治方針」を改訂し、政治理念を「労働組合の使命として、主権在民、基本的人権の尊重、恒久平和を基調とする日本国憲法の理念に沿い、労働基本権をはじめとする人権、自由、平等、民主主義を擁護し、社会的公正・

清水事務局長の

ハート・トゥ・ハート

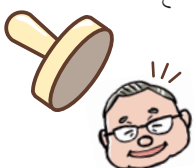
vol.8



正義を追求し、平和な社会および男女平等参画社会の実現をめざす」と定めています。そして、国の基本政策に関する姿勢について「徹底的な議論を通じた国民的コンセンサスづくりが必要」とし、憲法問題や外交・防衛・経済のあり方を示しています。

そのうえで、連合の求める政治について「左右の全体主義を排し、民意が適正に反映されて、健全な議会制民主主義が機能する政党政治の確立を求める」「労働者や国民の立場を踏まえ、生活者を優先する政治・政策の実現を求める」「与野党が互いに政策で切磋琢磨する政治体制の確立が重要である」と考える。そのため、政権交代可能な二大政党的体制をめざす」としています。さらに、連合の政治的役割として「労働者を代表する社会的組織として『力と政策』を強化し、『働くことを軸とする安心社会』を構築する手段として、政治活動に積極的に取り組む」と明記しています。

2017年の民進党の分裂以降、特に地方連合会や組合員が苦慮する厳しい政治状況が続いていますが、衆参二つの国政選挙のまともも踏まえて、今一度「力と政策」を強化するとともに、持続可能性と包摂を基底に置いた連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会」まもる・つなぐ・創り出す」が持つ意義をあらためて確認し、その実現に向けて、この1年を邁進していきたいと思ひます。



清水秀行 連合事務局長